

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(料金改定) 平成29年3月期調定分から統一料金に移行する。

(未収金対策) 引き続き、滞納者に対して納入指導及び給水停止措置を実施していく。また、事務の合理化と省力化を進め、長期滞納者の発生を抑制する。

(維持管理費削減) 配水施設の運用状況を精査し、動力費、薬品費の削減を目指す。また、修繕工事について、優先順位を設定し、緊急性の低い修繕工事については支障のない範囲において翌年度に繰越し、現年度執行の工事費を抑制する。

(工事コストの抑制) 法定交換水道メータの購入に際して入札による一括購入を既に実施している。今後も継続する予定である。

φ13メータ(直読式)の一括購入による改善額¥2,907(千) φ13メータ(遠隔式)の一括購入による改善額¥2,532(千) φ20メータボックス(3種)の改善額¥2,455(千) φ13止水栓(2種)の改善額¥274(千) 総改善額¥8,168(千)

(年間総有収水量の見通しについて)

有収水量減少の明確な要因は特定できないが、使用者による節水や空き家の増加などの社会的要因が考えられる。主要な大口使用者は逆に増加傾向にある。このような状況から大口使用者の使用状況が経営に及ぼす影響が今後、拡大してゆくものと考えられるが、改訂料金体系が逓増性を採用しており、大口使用者に対して負担が偏向していることから、節水に転じる可能性は高い。

(v)改善方針の進捗状況

団体名	北杜市
会計名	簡易水道事業特別会計

④ 公営企業債現在高

類型	a
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画最終年度 (平成27年度)	当初計画 最終年度目標値
計画目標値(A)	11,416	10,195	9,999	9,787	9,578	11,416
実績値(B)	10,521	10,039	9,730	9,602	9,385	
乖離値(C) (A-B)	895	156	269	185	193	2,031
乖離率(D) (C/A)	7.8%	1.5%	2.7%	1.9%	2.0%	17.8%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
合計	-	-	-	-	-		
うち、やむを得ない事情	-	-	-	-	-		

(iii)実績値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項



(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し



(v)改善方針の進捗状況

